

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

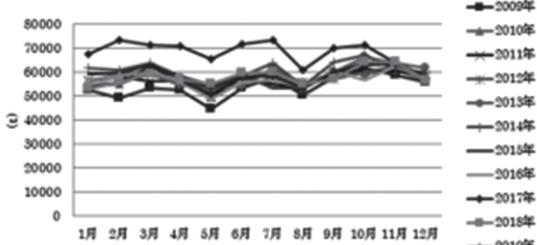
橋本 健一郎



6月の銅の概況及び7月の見通し (3)

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると、銅電線出荷量は、前年比+3.3%の5万6,800tであった。

銅電線出荷推移



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車】

日本自動車工業会によると4月の自動車生産台数は前年比+4.7%の81万4,351台であった。

輸出(5月)は35万4,984台で前年同月比+2.9%。

【販売】

日本自動車販売協会連合会によると6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-0.9%の29万225台。

内訳は、乗用車-1.8%、貨物+4.3%、バス+20.8%。

令和元年5月の住宅着工戸数は7万2,581戸で、前年同月比で8.7%減となった。また、季節調整済年率換算値では90.0万戸(前月比3.3%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で2か月連続の減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家は増、貸家及び分譲住宅は減となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【伸銅品生産】

伸銅品生産は、前年比-8.4%の6万2,286tで6か月連続減少。

伸銅品の14品種のうち、前年同月比プラスは、銅板の1品種のみだった。伸銅品の需要全体に勢いがない。

内需は5万2,699t、-7%、6か月連続マイナス。

輸出は9,687t、-15.3%、6カ月連続マイナス。

銅条は1万1,610t、-9.6%、4カ月連続マイナス。

黄銅棒は1万4,641t、-8%、5カ月連続マイナス。

【電線】

前年比+3.3%の5万6,800t。うち国内は+6.1%、輸出が-52%。

【輸出】

電気銅輸出が-22%の4万1,164t。銅スクラップが+13.1%の3万3,540t。

【輸入】

電気銅が+148.5%の1490t。スクラップが+3%の1万2093t。

【見通し】

自動車は生産が+4.7%。国内販売台数が前年比-0.9%。

生産は再びプラス。生産はプラスだが販売はマイナス、今後を注視。

伸銅品生産は前年比-8.4%の6万2,286t、6か月連続減少。今後マイナスが続くか注視。

【電線】

前年比+3.3%の5万6,800t、うち国内+6.1%、輸出が-52%。

銅輸出は、相場下落に伴い輸出は減少。スクラップは内需低迷から増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫はここ最近の相場下落から塩漬玉があり。銅建値が70万程度のなれば市中にでてくるのではないか。需要面に関しては足元の生産状況が徐々に悪化しており減少。

G20での米中貿易戦争の一時休戦を受けて相場は上昇したがメーカーの購入意欲は低く、スクラップ販売は当面厳しい。

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向、米朝会談後の動向に左右される。

米中貿易に関しては予想どおりG20で一旦休戦になったため1次的には好材料になるのでは?(先行きはまた課税戦争になることは間違いないが)。

米朝会談に関しても、金総書記との面談ができるとは維持的にはプラス、好材料となる(核放棄するとは思えずこちらも長期的には変化なし)。

これらを踏まえた7月の銅価格は5,800-6,200ドル(セツル)との予想。

ドル円値は107円~110円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては670-730円程度と予測している。

【「6月の銅の概況及び7月の見通し」おわり】

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

〒 580-0006 松原市大堀1丁目 7-30

T E L 0723-31-3945代表

F A X 0723-31-3974